



帝京平成大学
オープンキャンパス

薬学部

楽しく学ぼう！

2021 07 18

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール

◆ 薬学科のご説明（是非ご参加ください）（3階 303教室）

9:10~9:30 13:10~13:30

◆ 模擬授業（3階 303教室）

9:30~9:50 13:30~13:50

◆ 体験実習（調剤実習室 3階 318）

「薬剤師の軟膏調剤を体験してみよう！」

1回目 10:30~11:20 2回目 14:00~14:50

◆ オープンラボ（4階 413研究室）

「骨だけではない！生命活動をカルシウムで理解する」

9:00~12:00 13:00~16:00

◆ オープンラボ（4階 417研究室）

「タンパク質を見てみよう！」

9:00~12:00 13:00~16:00

◆ 学生交流・進学相談（3階 304教室）

「薬学部のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」

9:00~12:00 13:00~16:00

その他（全学部共通） 9:00~12:00 13:00~16:00

個別相談（入学者選抜・奨学制度）

（1階 食堂）

個別相談（就職）

（1階 就職支援室）

メディアライブラリーセンター見学

（8階 図書館）

入学者選抜説明 10:00~10:30 14:00~14:30

（2階 225教室）

面接対策講座 11:30~12:00 15:30~16:00

（2階 225教室）

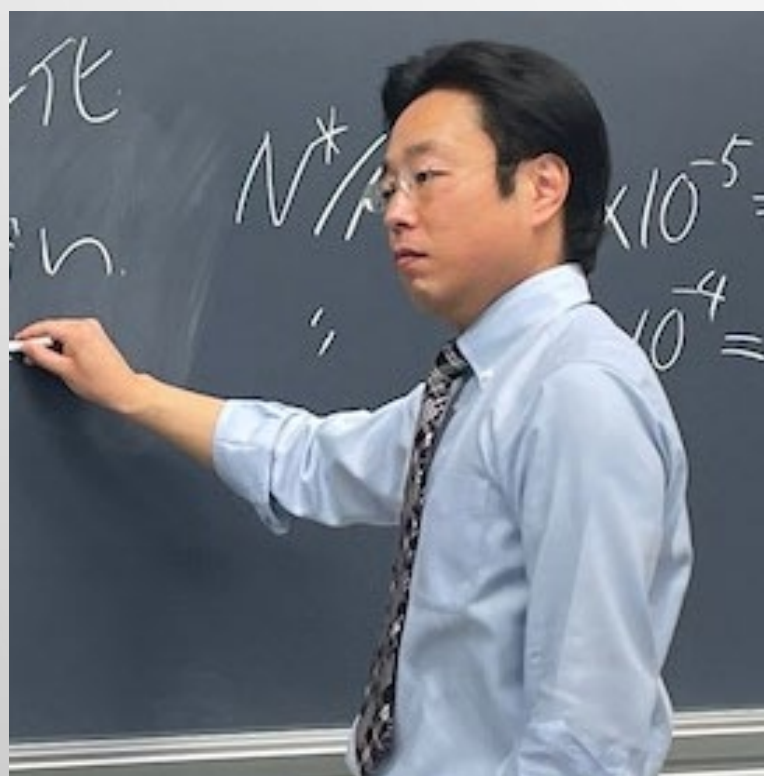
模擬授業

9 : 30-9 : 50 13 : 30-13 : 50

303教室（3階）

PCR検査と 抗原検査の仕組み

健康診断に代表される検査は、健康状態を「数値化」「見える化」する技術ですが、平常時はその重要性が見過ごされています。新型コロナウイルスの蔓延により注目されるようになったPCR検査と抗原検査について、その科学的な仕組み（原理）を解説します。



准教授 大野 賢一

薬品分析学ユニット

昭和大学大学院薬学研究科博士課程修了、博士（薬学）。東京都立大学大学院工学研究科、昭和大学薬学部、東北医科薬科大学薬学部を経て、現在に至る。

P・C・Rの意味や技術開発の歴史などを含めて、科学的な原理をわかりやすく解説します。

体験実習

薬剤師の軟膏調剤を体験してみよう！

会場・時間

調剤実習室（3階 318）

第1回10:30～11:20/第2回14:00～14:50

上記以外の時間にも施設見学は受け付けています（9:00～12:00/13:00～16:00）

- 薬剤師が処方箋に基づく調剤や製剤を行う場合に取り扱う薬物には、錠剤、散剤、水剤、外用剤などいろいろな剤形があります。
- 調剤においては、製品をそのまま使用する場合と、複数の薬剤を混合して容器に充填するなど調製が必要な場合があります。
- 今回は、軟膏をへらを使って混合し、容器につめてみましょう！

- 担当教員 薬学臨床教育研究センター
臨床薬物治療学ユニット 清野 敏一

薬剤調製時には、マスクとキャップを装着しましょう！
マスクは顎まで覆います。



キャップは耳までかぶせましょう！

- 薬学臨床教育研究センター
臨床薬物治療学ユニット 栗林 和美
地域薬局学ユニット 伊東 育己

オープンラボ 骨だけではない！ 生命活動をカルシウムで理解する

会場：専門ラボ9 4階 413 研究室

時間： 9:00～12:00 13:00～16:00

『カルシウムって体の中で何をしているのでしょうか？』と尋ねると、多くの人から『骨！』という答えが返ってきます。間違っている答えではありませんが、カルシウムは多くの私たちの生命活動に関わっています。筋肉を動かす、血液中の血糖を下げる、そして神経が活動するためにカルシウムはなくてはなりません。



私たちはまだ不明な点が多く存在する生命活動を明らかにするためにカルシウムという観点から研究を行っています。今回のオープンラボでは細胞の中のカルシウムを測定する機器を見学していただき、カルシウムが関わる身近な出来事について話したいと思います。

担当：薬理学ユニット

吉田 卓史

戸田 雄大

オープンラボ

薬学のラボを体験しよう！！

タンパク質を見てみよう

会場・時間

専門ラボ5（4階 417）

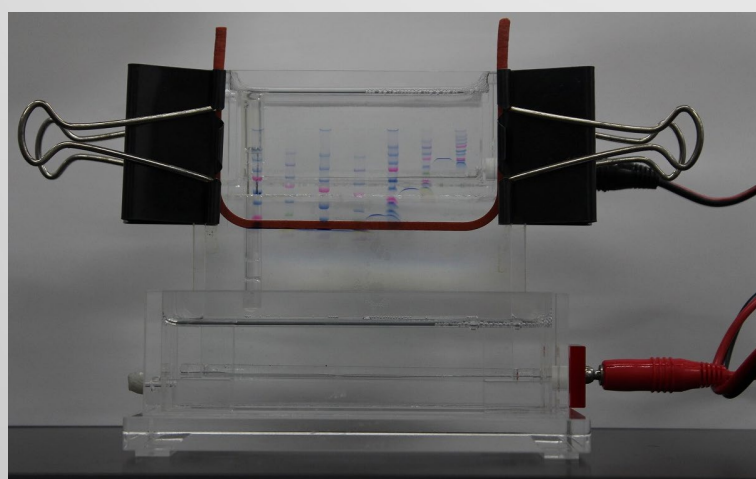
9:00～12:00, 13:00 ～16:00

（見学随時）

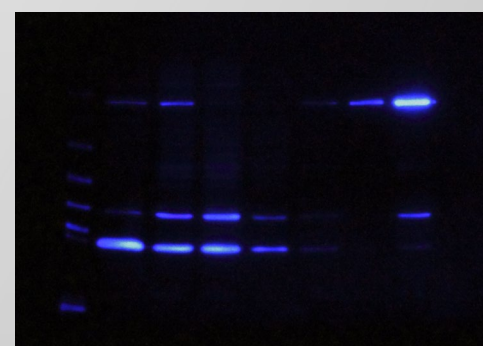
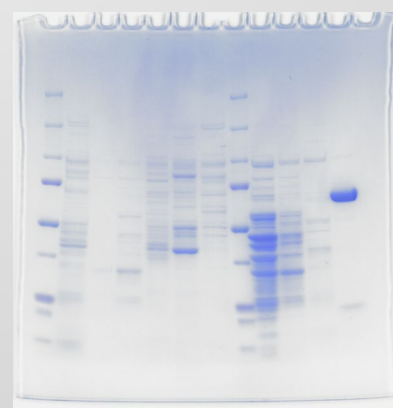
- ・ ヒトの体を構成する重要な成分にタンパク質があり、約10万種類のタンパク質が存在すると考えられています。
- ・ 私たちのラボでは唾液中の細胞外小胞の働きを調べています。この膜小胞には100種類以上のタンパク質が含まれているので、その中から感染症と戦うタンパク質や疾患の目印になるタンパク質を探しています。
- ・ 今回のオープンラボでは①電気泳動やカラムクロマトグラフィーによるタンパク質の分離、②特定のタンパク質の発光による検出などのデモを行いますので、普段の研究を体験していただきたいと思います。



タンパク質分離用カラム



電気泳動装置



タンパク質の検出

担当教員 膜機能ユニット
矢ノ下 良平 小川 裕子